

この説明文書はお薬とともに保管し、ご使用の際には必ずお読み下さい。

せき・たんに鎮咳去痰薬

医薬品

生薬配合

セキセチン®咳止め

製品の特徴

セキセチン咳止めは、咳(せき)をしずめるとともに、のどにからまるたんを薄めて排出しやすくする医薬品で、お子様から高齢の方までお使いいただける甘味のあるのみやすいシロップ剤です。

使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。
他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬(鼻炎用内服薬、薬物酔い薬、アレルギー用薬)、鎮静薬
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。
(眠気があらわれることがあります。)
3. 過量服用・長期連用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 授乳中の人
(4) 高齢者
(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人
(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
(7) 次の症状のある人
高熱、排尿困難
(8) 次の診断を受けた人
心臓病、高血圧、糖尿病、緑内障、甲状腺機能障害
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	排尿困難

- (2) 5～6回服用しても症状がよくなりません
3. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談して下さい。
便秘、口のかき

効能・効果

せき、たん

用法・用量

通常1回下記量を1日3回毎食後なるべく30分以内に服用し、また必要に応じ就寝前に服用して下さい。症状のひどい時は1日6回まで服用できますが、この場合は4時間の間隔をおいて服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	10mL	3～6回
11才以上15才未満	6mL	
8才以上11才未満	5mL	
5才以上8才未満	3mL	
3才以上5才未満	2.5mL	
1才以上3才未満	2mL	
3カ月以上1才未満	1mL	
3カ月未満	服用させないで下さい	

<用法・用量に関する注意>

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
- (2) 1才未満の乳児には、医師の診察を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させて下さい。

成分とはたらき

成 分	分量 (60mL中)	はたらき
リン酸ジヒドロコデイン	30mg	せき中枢に作用し、せきをおさえます。
dl-塩酸メチルエフェドリン	75mg	気管支筋に作用して緊張をやわらげ、せきをしずめます。
グリセリンモノグアヤコールエーテル	300mg	気道分泌液の分泌を高め、たんを薄めて排出を促します。
マレイン酸クロルフェニラミン	12mg	抗ヒスタミン作用が気管支筋の緊張をやわらげ、せきをしずめます。
ニンジン流エキス (ニンジンとして1.2g)	1.2mL	たんを薄めて排出を促します。
ゴミシ流エキス (ゴミシとして1.0g)	1.0mL	せきの緩和に用いられる生薬です。
バクモンドウ流エキス (バクモンドウとして2.0g)	2.0mL	
無水カフェイン	70mg	

添加物として、安息香酸Na、パラベン、エタノール、白濁、L-グルタミン酸Na、ポリリン酸Na、メタリン酸Na、ピロリン酸Naを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。
- (5) 服用のつどビンの口をよく拭いてから、フタをしっかりと締めて下さい。
- (6) いったん開栓後は、長期保存しないで下さい。
- (7) 計量カップはご使用のつど、水洗いなどして常に清潔に保管して下さい。
- (8) 本剤は生薬成分を配合しているため、製品により多少色が異なったり、沈殿を生じる場合がありますが、効果に変わりはありません。よく振ってから服用して下さい。
- (9) 本剤はフタ部分を白色のフィルムで包装しています。フィルムの破れているもの、又はないものは服用しないで下さい。

ワンポイント情報

せきはのどや気管支の粘膜などが、いろいろな原因により刺激を受けたり炎症をおこした際に、せき中枢が反射的におこす自衛的な生理現象です。しかし、せきが激しく長引くようになりますと、食事や睡眠も不足しがちとなり、体力も衰えてきます。さらには病氣に対する抵抗力も弱まり余病を引きおこすようになりますので、早めに手当てをすることが大切です。



お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 東京支社 お客様相談室

東京都千代田区三崎町1-3-12

(03) 3293-3363 (ダイヤルイン)

(月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 但し祝祭日を除く)



製造販売元

湧永製薬株式会社

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624

本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36